

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、産婦人科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 腎移植後の婦人科手術と周術期管理に関する検討

[研究対象者] 腎移植手術を受けた既往がある方で2021年4月より2025年9月までの間に、産婦人科で手術療法を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、既往歴、血液検査所見、MRI画像所見、手術記録、手術動画

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

外科技術と免疫抑制薬の進歩に伴い、腎移植手術を受ける方は増加し、その後、何らかの病気を診断されて手術を受ける方も増えています。腎移植後は尿管や骨盤内の血管の走行が移植前と異なりますが、その事は移植外科以外の領域ではまだあまり知られていません。本研究は腎移植手術後に婦人科手術をうけた患者さんの診療記録について後方的に検討し腎移植後の安全な手術方法を確立することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年9月30日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 産婦人科 講師 秋澤叔香

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 産婦人科 秋澤叔香

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）